

事務事業名	就学時健診事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12098					
			所属課室	教育総務課	課長名	塚原 浩二					
			所属担当	保健給食担当	担当者名	柴田 肇					
基本政策	基本計画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		23	学校教育の充実		01	一般	10	01	02	020	19
政策		36	「生きる力」を育む学校教育の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策			法令根拠		学校保健安全法						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H15 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)										
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	就学予定者(新小1)の健康状態を把握するため、学校保健法に基づき就学予定者全員を対象に健診を行う。 ①眼科 ②耳鼻科 ③歯科 ④内科 ⑤視力 ⑥聴力 ⑦知能検査			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			報償金	896	手数料	8					
			消耗品	77	その他保険料	14					
			医薬材料費	8	会場借上げ料	236					
					計	1,239					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	27年度活動予定	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない		
	内科・耳鼻咽喉科・歯科・眼科について学校医が診察。知能検査は各入学予定の小学校の先生、視力、聴力検査は市職員が行う予定。	内科・耳鼻咽喉科・歯科・眼科について学校医が診察。知能検査は各入学予定の小学校の先生、視力、聴力検査は市職員が行う予定。		名称	単位	
				ア	就学時健診受診者数	人
				イ		
				ウ		
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内小学校へ入学を予定している幼児		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない		
				名称	単位	
				ア	市内に就学を予定している者	人
				イ		
				ウ		
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	就学を予定している幼児の健康状態を把握し、小学校へ就学するための指導・助言をする。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない		
				名称	単位	
				ア	受診者率	%
				イ		
				ウ		
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	適正な就学をし、児童が健やかに学校生活を送る。		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない		
				名称	単位	
				ア	学校生活の満足度	%
				イ		

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,258	1,279	1,277	1,277	1,277	1,277	1,277	
		事業費計(A)	千円	1,258	1,279	1,277	1,277	1,277	1,277	1,277	0
	人件費	正規職員従事人数	人	75	75	75	75	75	75	75	
		延べ業務時間	時間	6	6	6	6	6	6	6	
		人件費計(B)	千円	27	27	27	27	27	27	27	0
		(A)+(B)	千円	1,285	1,306	1,304	1,304	1,304	1,304	1,304	0
		活動指標	人	722.0	715.0	700.0	680.0	680.0	680.0	680.0	
		対象指標	人	722.0	715.0	700.0	680.0	680.0	680.0	680.0	
		成果指標	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		上位成果指標	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	学校保健法に定められた入学時前児童の健康診断。合併後においても旧町村地区単位(芦安と白根は一緒)で実施を行っている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	合併数年後、健診会場を統一し実施。また、22年には幼稚園通園児童等の知能検査の会場も統一し、効率化を図った。今後は小規模な地区の集約が可能か検討していく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	知能検査は、検査後の採点の集計について時間がかかる。11月中旬までには、健診を終わらせてほしい。教育委員会で、幼稚園を対象に別の日に、知能検査を実施したらどうか。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	合併数年後、健診会場を統一した。また、地区毎違っていた健診方法も少しずつ合わせていった。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	幼稚園・私立保育園に対し、知能検査を事前に実施するようお願いしたところ、ポッポの家で応じてくれた。

事務事業名	就学時健診事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	---------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 学校保健法に基づき実施している健診であり、施策に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 学校保健法に基づく事業であり、また学校と連携を図ることによって、知的障害等の有無など迅速に発見できるため、市の関与は必要である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 小学校入学前に、児童の心身の状態を知っておくことは、学校でのすばやい対応が可能となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をとする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 知能検査を、私立保育園・幼稚園で実施してもらえば、健診時間が短くなる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 就学を予定している幼児の健康状態を把握できず、小学校へ就学するための指導・助言ができず施策の目的が達成できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 白根地区・若草地区・楡形地区は各学校ごとの内科校医が就学児の検診を行っている。一方、甲西地区は1名の内科校医が甲西地区全体の就学児の検診を行っている。例として白根地区では源小入学予定の10名の就学児を検診する内科校医の報酬と、白根東小入学予定の60名の就学児を検診する内科校医の報酬が同額である。これを甲西地区方式に変えれば
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 学校医、教育委員会職員、学校職員の出労により対応しているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内小学校に入学を予定している全幼児が対象であり、公平・公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校保健法に基づき行っているもので、学校側は事前に子供の状態が把握でき、保護者も共通の認識を持つため有効な事業である。 試行錯誤し、現在の実施方式になった。細かな改善点はあるが、全体としては問題ない。 白根・若草・楡形方式については旧自治体時代からの方式が続いているものであり、経費削減レベルで直ちにに対応できるものではない。そのため⑦には可能性は記述してあるが現実的な対応では無い。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ・白根・若草・楡形地区方式の見直しを行う。 ・私立保育園・幼稚園で知能検査を行ってもらう。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ・医師・医師会の説得。 ・私立保育園長・幼稚園長の説得。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度 成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 ⑥																					